

公益財団法人 セコム科学技術振興財団 学術集会および科学技術振興事業助成
明治大学 POLARIS (市民社会と科学技術政策研究所) 2018 年度公開連続講座

第1回 「ロボットは市民社会を変えるのか？」

私たちは、インターネットや AI (人工知能) の恩恵にあずかり、ロボットやドローンなどの新しい技術の素晴らしさを目にしています。しかし、それらがどれだけ安全で安心な技術なのかを現場の研究者や実務者から聞く機会はありません。また、政府の政策はどのようなものなのか、人間を置き去りにしてはいないかなど、話し合う機会もありません。そこで今年度のポラリスでは、社会に組み込まれた新しい科学技術 (ロボット、ドローン、AI、サイバー問題など) について連続講座形式で考えていきます。

第1回のテーマはロボットです。民間ロボット研究開発の現状や展望について専門家から紹介をしてもらい、市民社会との関わりかた、さらに「ロボット問題を通じた人間の在り方」について一緒に考察していきます。

日時：2018年5月25日(金) 17:10 ~ 18:50 (予定) ※開場: 17:00

申込不要 / 入場無料 (定員 120 名) 一般参加可能

会場：明治大学和泉キャンパス図書館ホール

〒168-8555 東京都杉並区永福 1-9-1 明治大学和泉キャンパス内
京王線 / 井の頭線「明大前駅」下車 改札口を出て徒歩約 5 分
※お車でのご来場はご遠慮ください。



1. 講演

「民間ロボット研究開発の現状と展望」

浅野 優

株式会社 日立製作所 研究開発グループ
デジタルテクノロジーイノベーションセンタ
メディア知能処理研究部 研究員
博士 (情報科学)



2. 対話—ロボットと人間について—

(1) 問題提起

「ロボット推進政策の課題」

勝田 忠広

明治大学法学部教授
POLARIS 代表
博士 (工学)



(2) 対話

リアルタイムアンケートを元に参加者全員で議論

